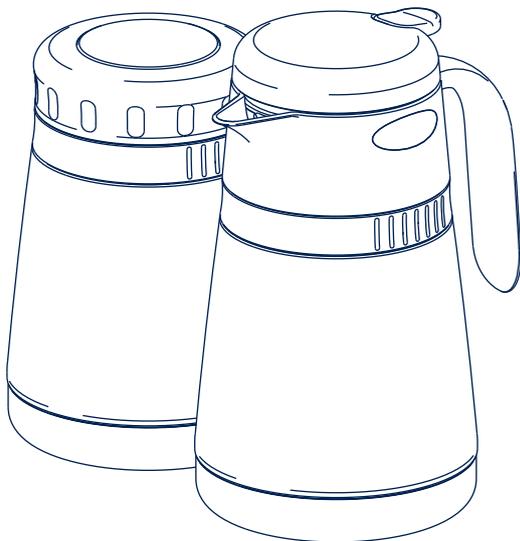
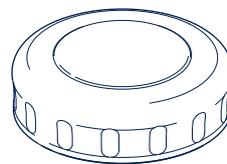
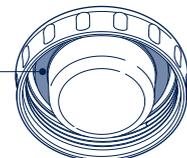
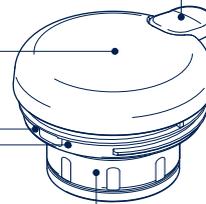
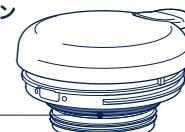
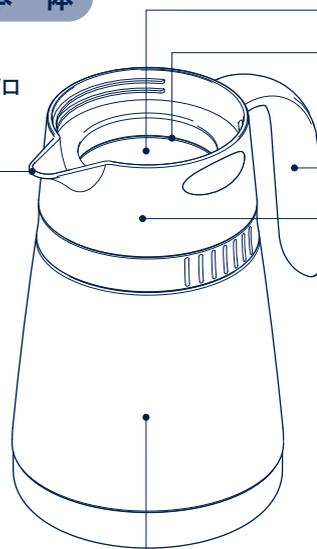
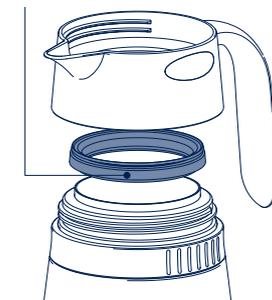
各部の名称

丈夫で省エネ
ステンレスまほうびん

取扱説明書

このたびは、オルゴ ステンレスハンディポットをお買い上げいただきありがとうございます。この製品を正しくお使いいただくために、ご使用にあたっては必ず取扱説明書をお読みください。お読みいただいたあとは大切に保管して、ご使用上で分からない点や不具合な点が生じた場合はお確かめください。

オルゴ株式会社

HSS10ZZ401B

中 栓

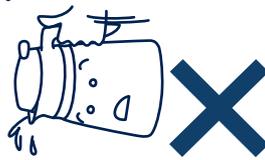
本 体

※品質向上・改良のため、予告なく機構、デザイン等を変更することがありますので、ご了承ください。

必ずお守りください。

●この製品は、飲料物を入れての保冷 ・保温を目的としたものです。
●漏れやあふれは、やけどや他のものを汚す原因となります。
●ご使用になるときは、やけどや飲料 の変質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために、下記の事は必ずお守りください。

●乳幼児の手の届く所には置かないでください。また、いたずらには充分注意してください。
やけど等危険です。

●ドライアイス・炭酸飲料などは入れないでください。
内圧が上がり、中栓が開かなかったり内容物が吹き出るなど危険です。

●持ち運びは必ずハンドルを持って移動してください。上ぶたを持ったり、傾けたり横にして持たないでください。
漏れ、やけどや汚れの原因になります。
移動時は必ず立てた状態で運んでください。

●ストーブやコンロなどの火のそばに近づけないでください。又は直射日光の当たる場所に置かないでください。
変形・変色の原因になります。

●長時間保温しないでください。
水以外の内容物の場合は、腐敗する恐れがあります。

●内容物を入れたときは、横転させないでください。また倒したり落としたりぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)や衝撃を加えないでください。
内容物が出てやけどをする恐れがあり危険です。

●内容物は目盛りの位置以上入れないでください。
入れすぎるとレバーが固くなったり、中栓をしめた時に内容物があふれる恐れがあります。

●本体のまる洗いや、中栓・保温キャップのつけ置き洗いは絶対しないでください。
水が侵入し、錆が発生したり、他の物を汚す原因になります。

●自動車に持ち込まないでください。
やけどや汚れの原因になります。

●熱いものを入れた場合は直接飲まないで、必ずコップなどをご使用ください。また、熱いものを注ぐ時は、本体を急に傾けないでください。
内容物が勢い良く出て、やけどなど危険です。

●保温キャップ・中栓・口金は、各パッキンが取り付けられている事を確かめ、確実に閉めてご使用ください。
漏れの原因になります。

●口金・保温キャップ・中栓は煮沸しないでください。
変形し、漏れ等故障の原因になります。

●分解修理はしないでください。
故障や事故の原因になります。

●飲料物の保温・保冷以外には使用しないでください。

ご注意とお願い

●氷を入れる場合は先に飲料物を入れ、小さく砕いた氷をすべらせるようにして入れてください。

●熱いやかんをプラスチック部分に触れさせないでください。
傷や変形の原因になります。

●落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
変型して保温不良など故障の原因になります。

●シンナー・ベンジン・化学ぞうきん・みがき粉・たわし・クレンザー・台所用以外の洗剤・塩素系漂白剤などは使用しないでください。
キズがついたり、サビ・故障の原因になります。

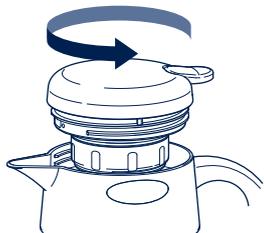
●熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあります。中びん内にはお湯を入れ、お茶の時は急須等をご使用ください。

●お茶、又は糖分・塩分を含んだものを入れて使用した後は、熱湯を入れて給湯を繰り返し、充分にお手入れしてください。

ご使用方法

初めてお使いになるときは、必ず中びん、口金、中栓、注ぎ口をぬるま湯などで洗い、清潔にお使いください。
ただし、丸洗いはしないでください。
使いはじめはプラスチックの臭いがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

❶ 本体から中栓を外します。

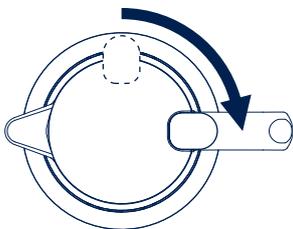
・図のように、時計と反対方向に回すと外れます。

❷ 飲料物を入れます。

・あらかじめ少量の熱湯(又は冷水)を入れ、中びんを1分程度予熱(予冷)してその湯を捨て、新しい熱湯(冷水)を入れると保温/保冷がより効果的になります。

[注意]
飲料物は右図の目盛り以上は入れないでください。中栓を閉める時にあふれ出る原因となります。

❸ 中栓を閉めます。

・図のように時計方向に回し閉めてください。
・レバーがハンドルの位置で止まるまで確実に閉めてください。

[注意]
中栓がしっかり閉まっていないと、漏れの原因になりますので、中栓の状態はよく確認してからご使用ください。

❹ 飲料物を容器に注ぎます。

・レバーを押しながら、注ぎ口をゆっくりと傾けて注ぎます。

[注意]
熱い飲料物の場合、傾けてからレバーは絶対に押さないでください。
内部の蒸気によって飲料物があふれ出てやけどの恐れがあります。

❺ 注ぎ終わったら、本体を起こしてレバーを離してください。

[注意]
注いでいる途中でレバーを離すと、中栓内部に飲料物が残る恐れがあります。

保温容器としてご使用になる場合

口金を付属の保温キャップに付け替える事で、みそ汁やスープなどの保温容器としても使用する事ができます。

❶ 本体から口金を外します。

・図のように、時計と反対方向に回すと外れます。

❷ 本体の口元についているパッキンを外します。

[注意]
口元から外れにくいときは、お湯に浸した布などでパッキン周りを湿らせてから外してください。無理に外すと、パッキンが破損するおそれがあります。

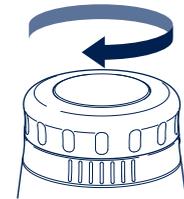
❸ 飲料物を入れます。

・あらかじめ少量の熱湯(又は冷水)を入れ、中びんを1分程度予熱(予冷)してその湯を捨て、新しい熱湯(冷水)を入れると保温/保冷がより効果的になります。

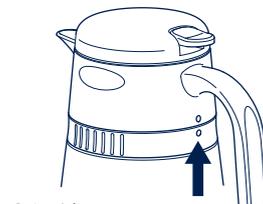
[注意]
飲料物は右図の目盛り以上は入れないでください。中栓を閉める時にあふれ出る原因となります。

❹ 保温キャップを閉めます。

・図のように時計方向に回し閉めてください。

[注意]
保温キャップがしっかり閉まっていないと、漏れの原因になりますので、保温キャップの状態はよく確認してからご使用ください。

● 口金を取り付けるときは

・再度口金を取り付けるときは、逆の手順で行ってください。このとき、口金は図のように本体と口金の●印が合うまでしっかりと閉めてください。

[注意]
口金がしっかり閉まっていないと、漏れの原因になります。

お手入れの方法 1

●中びんに残った内容物を捨て、毎日簡単なお手入れをしていただくことが、いつまでも清潔にご愛用いただくコツです。
●お手入れをおこたったり、内容物を長い間入れたままにしておきますと、各部の汚れがめだってきます。

中栓・本体・口金・保温キャップ

・布（台所用洗剤を入れた水に浸し固くしぼったもの）でふきとってください。

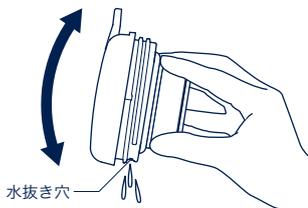
・中栓は、中栓カバーを外してお手入れする事ができます。中栓カバーは左図1のように、時計周りに回すと外れます。再び取りつける時は、断熱パーツの向きを左図1のようにして中栓本体に入れてから、外す時と逆の手順で中栓カバーを取りつけてください。

・本体や中栓・保温キャップのまる洗い、つけ置き洗いは絶対にさけてください。水が侵入しサビが発生する事により、保温効力が損なわれることがあります。

・注ぎ口等が汚れると、しずくが落ちることがありますので、注ぎ口等の汚れをきれいにふきとってください。

・中栓の中に水がたまった場合、中栓の外側横部(左図2参照)に水抜き穴がありますので、水抜き穴を下にして振ることによって、中の水を抜き取ることができます。

図1：中栓カバー・断熱パーツの外し方と取り付け方

図2：水抜きの方法

中びん

・お湯でうすめた洗剤液をスポンジに含ませ、ていねいに洗ってください。

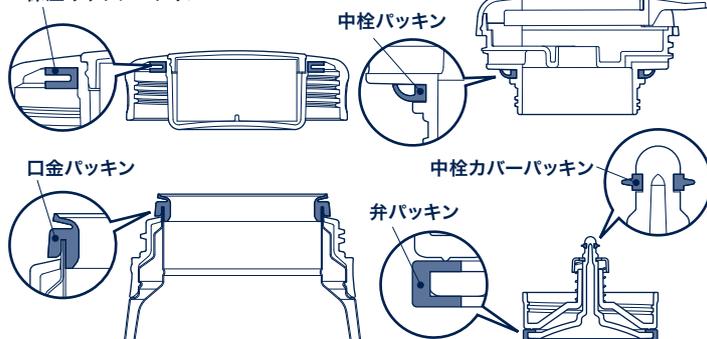
長期間ご使用にならないときは

・中栓・本体・中びん・保温キャップなどの汚れを落とし、乾いた布で拭き、自然乾燥させてください。特に中びんは充分乾燥させてください。

中びんにはステンレス鋼を使用していますが、水質や不純物などにより「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が付着する場合があります。
このような場合は、市販のクエン酸をぬるま湯でうすめて中びんに入れ、2〜3時間後に柔らかいブラシなどできれいに洗った後、水で充分にすすいでください。

※中栓は消耗品です。一年をめやすにご確認ください。消耗のある場合は、お買い上げの販売店で品名・品番をお確かめのうえ、お買い求めください。

お手入れの方法 2

●本体の丸洗い、中栓・保温キャップのつけ置き洗いはしないでください。
水が侵入しサビが発生する事により、保温効力が損なわれる事があります。
●食器洗浄乾燥機などの使用はしないでください。
変形や、漏れの原因になります。
●塩素系漂白剤は使用しないでください。
さびたり、穴が開く原因になります。
●シンナー類、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
キズやサビ、故障の原因になります。
●スポンジや布は柔らかいものを使用してください。
●お茶、又は糖分や塩分を含んだものを入れた後は、熱湯を入れて給湯を繰り返し、充分にお手入れをしてください。
●他の物と一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。
●製品には5種類のパッキンが取り付けられています。
お手入れの後は、各パッキンが正しく取り付けられているかをお確かめください。
パッキンが正しく取り付けられていないと、漏れや保温不良など、故障の原因になります。

お問い合わせ先

品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点、その他故障などがございましたら、使用しないでお求めの販売店か当社お客様相談室までお問い合わせください。お問い合わせの際は、必ず本体に記載されている品番をお確かめください。

オルゴ お客様相談室

TEL：06-6961-5885
FAX：06-6969-6692

受付時間：9:00 〜 17:00 (土・日・祝日・年末年始等を除く)
ホームページアドレス：http://www.allgo.co.jp

本社　〒538-0044
大阪市鶴見区放出東1-4-2　代表 ： TEL：06（6968）5555　FAX：06（6968）5564